

△3月23日の行動メモ

Mr. Nguyen Duc招請委員会
委員 北村 博

ホテルで迎え 10:00 →市長表敬訪問 10:30 (MBS-TV 取材) →大阪市労連 11:00 →同市職 →同市従立ち寄り挨拶 11:20 →昼食 12:10 →浪速区保健福祉センター見学 13:10 →浪速区長表敬訪問 14:30 →市職浪速区役所支部春闘学習会参加 15:00 →ホテル 16:30 →ドクさん義足調整 (読売新聞取材) 17:00 →一行歓迎パーティー 18:00 →ホテル就寝 21:00

本日の天候はあいにくの雨模様です。この時期は「穀雨」と呼ばれ、柔らかな春の雨に出合い、寒暖の差がありゲストの体調が心配です。ドクさんは少し咳き込んでいる様子です。風邪を引かないと良いのですが・・・。

元気なのは、竹下だいちゃんと通訳のランさんです。岡地さんと北村は「花粉症」で体調下降気味の一日の始まりです。ベトナム枯れ葉剤被害者協会副会長のジエンさんは、京都見学あとのツーザー病院副院長のチュイさん、ベトナム平和村リハビリテーション課長のタンさんそしてドクさんは、スケジュール通りの行程です。



はじめて入った市長室は、様々なゲストを迎える部屋らしく、落ち着きがあり広く明るい感じで、市側のスタッフの多さに驚いた。

和気藹々の雰囲気^{わきあひあひ}で双方の自己紹介、加来代表理事の挨拶、奥野招請委員長^{せき}の来阪の説明。關市長は、歓迎の意思表示と出来る限りの協力表明を戴きました。ドクさん一行は、今回の訪日の感想として、①大阪の人たちは優しい。②関空では、いろいろな人たちに迎えられる、私たちが大切にされている感想を持った。③交流会は、いろいろな人たちが意見を表明、話し合い理解し合うことが大切。④皆さんの気持ちは、国内のベトナムの人たちにとって、とてもありがたいことです。⑤ベトナム人は、日本人を大親友と認めています。広島・長崎原爆の悲惨が今も残っていて非常に残念です。など意見表明(要旨)されていました。

市労連・市職・市従は地下の組合事務所に簡単な挨拶によせて頂き、それぞれ委員長・組合スタッフで歓迎頂いた。時間の関係で、挨拶程度で一同は失礼しました。

昼食は、浪速区内の「かごの屋」にて小休止。ランさんは、肉嫌いでドクさんに全部あげていた。

同区内の保健福祉センターでは、3歳児検診の見学。中川所長・スタッフの黒川さんのご高配により、資料など配付し非常に丁寧に解説されていた。加えて同じ医者として専門的なやりとりも。医療体制(自治体の)について質問。

区長訪問は、ツーザー病院の医療プログラムについて質問などあり区長から励ましの言葉などの表明をいただきました。

学習会は、時間の制限もあり、副院長・課長・ドク
さんで通訳を交えコメント（来日の謝意）の表明。



中央区「ベップ・オーイ」（台
所の意）での歓迎パーティーで
は、テーブル上に用意されたベ
トナム料理とドリンクに参加者
一同（百人ほど）非常に盛り上
がり、話に花が咲いていました。



司会を担当された小川さんの「アオザイ」姿が非常に美しかった
印象が残っています。「びいこバンド」の歌、そして、それぞれの
テーブルで話が盛り上がり日越の交流が加速された思いでした。